



秋厚労ニュース

全国の青年秋田に集結

全厚労青年集会
K's station

10月6日(土)～8日(月)、あきた芸術村「わらび座」にて、全厚労青年集会「K's station in秋田」が開催されました。全国から97名(秋厚労33名)が参加し、全国の医療現場で働く同世代と交流を深めました。



角館武家屋敷を散策

全国の仲間 パワー全開

全厚労青年集会「K's station」は2年に1度、全国で開催されています。今年も秋田が担当。

1日目は、全国から集まった仲間を早速「秋田名物ババヘラアイス」で歓迎しました。開会式は全厚労青年委員長のあい

秋厚労青年部

2日目は、オプショナルツアーを2コース企画しました。辰子像、田沢湖畔、湖畔の杜レストラン、角館武家屋敷、安藤醤油北浦本館、鈴木酒造などを巡りました。秋厚労青

さつから始まり、各県青年部の取り組みの紹介がありました。その後、3日間の行動の基本になる班に分かれました。初めは緊張していましたが、自己紹介・共通点探しなどレクレーションを挟み、徐々に班の仲間と打ち解けていきました。

ツアーガイドでおもてなし

年部が訛りを交えながらそれぞれガイドを担当。秋田の良さを、全国の仲間に伝えました。その後、郷土料理「きりたんぼ作り」を体験。不揃いでも個性的なきりたんぼが出来上がりました。作ったきりたんぼは夕食で美味しくいただきました。

離職を減らすには

3日目は、グループワークです。「スタッフが辞めない職場」について考え、どうしたら実現できるか話し合いました。結果を模造紙にまとめ、全体で発表。人間関係で

夕食交流会は全国の仲間を歓迎するアトラクションとして「なまはげ太鼓」の演奏からスタート。あまりの迫力に会場全体が盛り上がりました。

ツアードライバー

「スタッフ間のコミュニケーションが良好」「ハラスメントのない」、時間面では「定時で帰ることができる」、休み関係では「希望休がとりやすい」などが理想の職場としてあげられました。実現のためには「管理職の研修」「飲み会をしてコミュニケーションを深めよう」「業務改善をしよう」という案が出ました。職種や環境は異なりますが、共感し合え、お互い学び合うグループワークになりました。

青年部活動に参加し、知識を広げよう

全厚労青年委員は「職場



歓迎アトラクション「なまはげ太鼓」



ババヘラならぬ、姉ヘラ・兄ヘラ担当

について話し合う場を設け、若い世代の意見を上の世代に伝え、よりよい職場環境をつくることにつながります。そのためにも青年部の活動にどんどん参加し、知識を広げようと呼び掛けました。

最後に、3日間撮り溜めた写真のスライドショーを見て、集会を締めくくりました。